

北栄町ながいもチャレンジプラン

事業実施主体名	鳥取中央農業協同組合	住 所	北栄町
プラン認定日	平成23年1月26日	プラン期間	平成23年～平成27年

1 プラン内容

(1) 概要

お手軽ギフトBOX（進物、ギフト用品として鮮度保持フィルムによる封かん後、化粧箱詰め）の製造ラインを整備し、付加価値を高めた進物品の生産能力向上及び衛生環境の改善を行う。

また、販売促進用品の作成を行い関東・関西方面への販売宣伝強化を行い、お手軽ギフトBOXの販売量の増加を図ることで、生産者の所得向上が可能となる。

(2) 取り組みポイント

- 障害対策による単収向上
- ムカゴの安定供給体制の確立
- 試食販売等の販売宣伝の強化

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H22	お手軽BOXライン整備 販売促進用品	1,630	543	272
H23	販売促進（関東方面）1回 販売促進（関西方面）6回	355	118	59
H24	販売促進（関東方面）2回 販売促進（中四国）1回	302	100	50
合 計		2,287	761	381

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力（雇用）	栽培戸数(平成22年産)	栽培戸数(平成24年産)
	(長いも) 121戸	(長いも) 115戸
	(ねばりっこ) 89戸	(ねばりっこ) 94戸
経営内容・規模	栽培面積(平成22年産)	栽培面積(平成24年産)
	(長いも) 18.4ha	(長いも) 15.1ha
	(ねばりっこ) 11.6ha	(ねばりっこ) 12.7ha

(2) 成果

・プラン目標に対する実績

①産地として普通長いもの生産量の増加を目指す

長いも	H22	H23	H24	ねばりっこ	H22	H23	H24
面積(ha)	18	17	15	面積(ha)	12	12	13
戸数(戸)	121	120	114	戸数(戸)	89	92	94
出荷量(t)	327	257	-	出荷量(t)	405	397	-
販売量(千円)	144,707	123,091	-	販売量(千円)	159,005	167,129	-

- ・年々長いも生産者は減少し、ねばりっこ生産者が増えている。
- ・黒陥没症、ネコブセンチュウの影響で、ゴボウを定植する生産者も増えている。
- ・黒陥没症は過剰な施肥が一因であることが推測され、生産者に対して減肥を提言している。
- ・ネコブセンチュウに関しては、D-D+クロピク同時被覆処理の普及を進め、被害の軽減につながっている。

②ねばりっこ販売額2億円

内容	H23 年産目標	H23 年産実績
栽培面積(ha)	13.5	11.8
出荷量(t)	400.5	397
販売量(千円)	176,620	167,129

- ・ビニール袋に入れて頂芽を保存する方法を検討し、生産者に普及している。

③「お手軽ギフトBOX」売り上げ1000万円

具体的取組内容 (項目)	現状	1年目				2年目		
	H21年度	H22年度				H23年度		
	実績	目標	実績	目標値に対する割合(%)	目標	実績	目標値に対する割合(%)	
長いも	出荷量(kg)	638	1200	224	19	1800	83	5
	販売額(千円)	401	752	149	20	1128	55	5
ねばりっこ	出荷量(kg)	3484	4800	3664	76	8100	2554	32
	販売額(千円)	2,325	3200	2,069	65	5400	1,487	28

- ・産地の活性化状況
- ・県内県外で販売促進を行い、消費者に「ねばりっこ」の認知度が高まりつつある。
- ・平成23年は広島、平成24年は長野の市場と取引が始まり、ねばりっこの需要が高まり、希望量供給できない現状がある。
- ・堀取り機が製造中止となっているため、堀取り機の開発が急務である。

[中部総合事務所農林局]